Mar.1.2024 Copyright 2024 HIROSE ELECTRIC CO., LTD. All Rights Reserved.
本製品を車載用途などの高い信頼性が求められる機器にご使用の場合は、弊社までお問合せ下さい。

適　用　規　格				
定　格	使用温度範囲	−55℃ ～ +125℃(注1)	保存温度範囲	−10℃ ～ +60℃(梱包状態)
	電　圧	AC/DC 50V	使用・保存湿度範囲	相対湿度90%以下(結露しないこと)
	電　流	0.5 A	適合ケーブル(FPC/FFC)	t=0.3±0.05mm :金めっき (GNDプレート：すずめっき)

性　能

	項　目	試　験　方　法	規　格	QT	AT
構造	外観,構造,仕上げ	目視，寸法測定器にて測定する。	図面と合致していること。（注2）	○	○
	表示	目視にて確認する。		○	○
電気的性能	耐電圧	AC 150Vの電圧を1分間印加する。	せん絡・絶縁破壊がないこと。	○	−
	絶縁抵抗	DC 100Vで測定する。	500MΩ以上	○	−
	接触抵抗	開回路電圧AC 20mV以下，1mAで測定する。	100mΩ以下　※FPC/FFC導体抵抗を含む （測定長 8mm(FPC)、20mm(FFC)）	○	−
機械的性能	耐振性	周波数 10～55Hz，片振幅 0.75mm, 3軸方向各10ｻｲｸﾙ試験する。	① 1μs以上の電気的瞬断がないこと。 ② 接触抵抗：100mΩ以下 ③ 破損，ひび，部品のゆるみがないこと。	○	−
	衝撃	加速度 981m/s^2，持続時間 6ms, 正弦半波 3軸両方向各3回試験する。		○	−
	繰返し動作	10回の抜き差しを行う。	① 接触抵抗：100mΩ以下 ② 破損，ひび，部品のゆるみがないこと。	○	−
	FPC/FFC挿抜力	適合FPC/FFCで測定する。 （初期，FPC/FFC端末厚 t=0.3mm）	挿入力：水平方向(n:極数) 4+0.3×n N以下(注3)(FPC/FFC) 4+0.39×n N以下(注3)(ｼｰﾙﾄﾞFFC) 抜去力：水平方向(n:極数) 8.5+0.16×n N以下(注3)(FPC/FFC) 8.5+0.2×n N以下(注3)(ｼｰﾙﾄﾞFFC)	○	−
	FPC/FFC保持力	適合FPC/FFCで測定する。 （初期，FPC/FFC端末厚 t=0.3mm）	水平方向(n:極数) 18+0.05×n N以上 (注4)(FPC/FFC) 7+0.11×n N以上 (注4)(ｼｰﾙﾄﾞFFC)	○	−
環境的性能	温度ｻｲｸﾙ	温度 −40→+15～+35→+125→+15～+35℃ 時間 30 →　2～3　→ 30→ 2～3分 に 5ｻｲｸﾙ放置する。	① 接触抵抗：100mΩ以下 ② 絶縁抵抗：50MΩ以上 ③ 破損，ひび，部品のゆるみがないこと。	○	−
	定常状態の耐湿性	温度 60±2℃，相対湿度 90～95%中に 96時間放置する。		○	−
	温湿度ｻｲｸﾙの耐湿性	温度 −10～+65℃，相対湿度 90～96%中に 10ｻｲｸﾙ(240時間)放置する。	① 接触抵抗：100mΩ以下 ② 絶縁抵抗：　1MΩ以上(高湿時) ③ 絶縁抵抗：50MΩ以上(乾燥時) ④ 破損，ひび，部品のゆるみがないこと。	○	−
	耐熱性	温度 125±2℃中に，96時間放置する。	① 接触抵抗：100mΩ以下 ② 破損，ひび，部品のゆるみがないこと。	○	−
	耐寒性	温度 −55±3℃中に，96時間放置する。		○	−
	二酸化硫黄 [JIS C 60068-2-42]	温度 40±2℃，相対湿度 80±5%, 濃度 25±5ppmに，96時間放置する。	① 接触抵抗：100mΩ以下	○	−
	はんだ付け性	はんだ温度 245±3℃ 浸せき時間 3±0.3秒間のはんだ付けを行う。	はんだ浸せき面の 95%以上が 新しいはんだでぬれていること。	○	−
	はんだ耐熱性	1)ﾘﾌﾛｰの場合 ﾋﾟｰｸ温度 250℃MAX 220℃以上，60～90秒、ﾘﾌﾛｰ回数：2回迄 2)はんだこての場合 350±10℃，5±1秒間	外観の変形，及び端子などに 著しいｶﾞﾀがないこと。(注5)	○	−

	△の数	訂正記事	設計	検図	年月日
△0					

備考　試験規格の記載のない試験方法はIEC 60512(対応規格 JIS C 5402)を適用している。

注1) FFC使用時の耐熱温度は105℃となります。耐熱温度がFPC：125℃未満、
FFC：105℃未満の場合は、FPC・FFCの耐熱温度が適用となります。

注2) 本品は，ﾜﾝｱｸｼｮﾝﾛｯｸ(嵌合操作はFPC/FFC挿入のみ)，下接点仕様です。
FPC/FFC抜去が必要な場合のみ、ﾛｯｸﾚﾊﾞｰの操作を実施してください。

注3) FPC/FFCは本品に対し，斜めに挿入/抜去しないようご留意ください。

注4) FPC/FFCに垂直方向の荷重が加わる場合は、FPC/FFCを固定してご使用願います。
FPC/FFCの仕様により上記の値が変わる場合があります。

注5) ﾓｰﾙﾄﾞに若干ふくれが発生する場合がありますが、製品性能上問題ありません。

注6) ｳｨｽｶｰ発生有無、長さ、それを起因とする性能劣化については規格対象外になります。

承　認	HS.HIRAHARA	20220119
検　図	HS.HIRAHARA	20220119
担　当	KN.KOBAYASHI	20220119
製　図	NM.YONEYAMA	20220119

注　QT:確認試験　AT:製品検査　○:適用項目

図番	SLC-388109-99-00		
製品名	FH63S-**S-0.5SH(99)		
製品ｺｰﾄﾞ	CL580	△0	1/1

HRS　製　品　規　格　表
ヒロセ電機株式会社

技書規２３１－１